

■インドネシア：電気料金の算定方式を見直し

国営電力会社（PLN）は 2013 年 9 月 30 日、電気料金の算定方式を一部見直すと発表した。それによると、大規模工業用（契約容量 200kVA 以上：料金種別 I-3 および I-4）の電気料金を対象に、為替変動と物価変動を自動的に反映できるようにするとしている。同社は、電力補助金を約 2 兆ルピア（約 2,000 億円）削減できると見込んでいる。政府の予算委員会において 2014 年度の電力補助金予算の削減（89 兆 8,000 億ルピアから 71 兆 3,600 億ルピアへ削減）が決定したことから、PLN は電気料金の見直し作業を行っている。